

# 安全データシート

1/3

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : LB112 シリーズ ドラムカートリッジ (感光体)

会社名 : 富士通クライアントコンピューティング株式会社

問合せ先

会社名 : 富士通コワーコ株式会社

住所 : 〒211-0041 神奈川県川崎市中原区下小田中二丁目12番5号

担当部門 : 営業推進統括部 技術部

電話番号 : 0120-505-279

整理番号 : TR19-M002 (全3頁)

作成・改定 : 2019. 4. 23

## 2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性 : 特になし  
特定の危険有害性 : 特になし  
GHS 分類区分 : 適用外 (成型品)  
GHS ラベル要素 : 該当せず  
その他有害性情報 : 特になし

## 3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 適用外 (成型品)

成分及び含有率 :

化学名または一般名	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法/安衛法)	含有量 (重量%)
アルミニウム (円筒基体)	7429-90-5	対象外	>62%
感光層 :			<5%
ポリカーボネート樹脂	非開示	非開示	-
有機感光材料	非開示	非開示	-
顔料	非開示	非開示	-
ギアアッセンブリー :			
ポリアセタール樹脂	非開示	非開示	<30%
ステンレス鋼 :			
ニッケル	7440-02-0 *	該当なし (安衛法 : 政令番号別表第9 418)	<0.3%
それ以外	非開示	非開示	<2.7%

\* 本製品 (成型品) の通常使用において、危険有害性は特になし

## 4. 応急措置

特になし

## 5. 火災時の措置

特になし

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 特になし

環境に対する注意事項 : 特になし

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 感光体表面を直接手で触れないこと。  
保管 : 直射日光を避け、冷暗所 (40℃以下) に保管すること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 管理温度 労働安全衛生法 : 該当せず  
許容濃度 <参考値> : 該当せず  
設備対策 : 通常の使用においては、特に必要なし  
保護具 : 通常の使用においては、特に必要なし

## 9. 物理的及び化学的性質

- 外観等  
形状 : 樹脂皮膜のついたアルミニウムシリンダー  
色 : 黄緑色  
臭い : 無臭  
pH : 該当せず  
融点 : >150℃  
沸点 : 該当せず  
比重 : 1.2 (H<sub>2</sub>O=1) [コーティング層]  
引火点 : 該当せず  
発火点 : 該当せず  
溶解性 : 水に対して不溶

## 10. 安定性及び反応性

- 安定性・反応性 : 通常の取り扱い条件下においては安定  
危険有害反応可能性 : 特になし  
避けるべき条件 : 特になし  
混触危険物質 : 特になし  
危険有害な分解生成物 : 特になし

## 11. 有害性情報

- 急性毒性 : データなし  
皮膚腐食性/刺激性 : データなし  
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : データなし  
呼吸器感受性 : データなし  
皮膚感受性 : データなし  
生殖細胞変異原性 : 微生物を用いる変異原性試験 (Ames 試験) にて陰性を示す。  
(構成素材データから推定) [コーティング層]  
発がん性 : データなし  
生殖毒性 : データなし  
特定標的臓器毒性 (単回暴露) : データなし  
特定標的臓器毒性 (反復暴露) : データなし  
吸引性呼吸器有害性 : データなし  
その他 : 情報なし

## 12. 環境影響情報

- 生態毒性 : データなし  
残留性・分解性 : データなし  
生態蓄積性 : データなし  
土壤中の移動性 : データなし  
その他有害影響 : 情報なし

### 13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃掃法及び/又は条例に従って処理すること。

### 14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号

: 該当せず

国連分類

: 該当せず

特別の安全対策

: 特になし

### 15. 適用法令

労働安全衛生法

: 該当せず

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)

: 該当せず

### 16. その他の情報

参考:

- ・ JIS Z 7250 : 2005

略語:

- ・ 化審法: 化学物質の審査および製造等に関する法律
- ・ 安衛法: 労働安全衛生法
- ・ 廃掃法: 廃棄物の処理および清掃に関する法律

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作製しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。